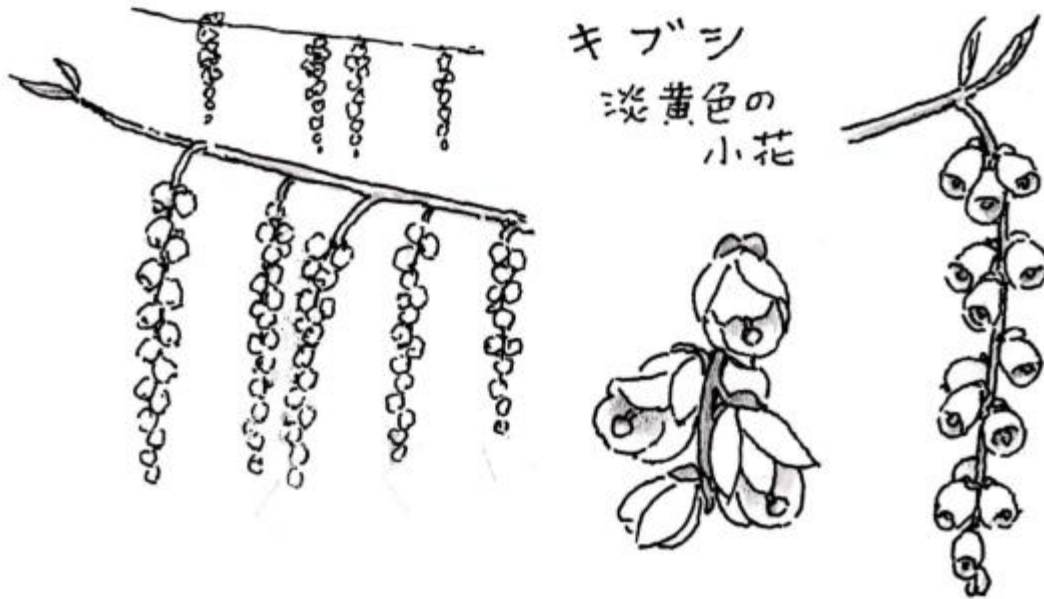




ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会 次田

事務局からのお知らせ

●新型コロナウイルスに関連した友の会活動中止について●

新型コロナウイルスの感染予防と感染拡大防止のための自然観察センターの臨時休館措置に伴い、2月29日より友の会の活動も中止としております。

5月6日までの休館が決まっており、今後更に休館期間が延長となる可能性もあります。引き続き、自然観察センターと歩調を合わせた対応を取っていきますので、友の会行事、センター行事とも変更の可能性ががあります。会員のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

友の会のホームページ (<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)

で随時情報を更新していきますので、ご覧ください。

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

森のこぼれ話

ふむふむ

今年2月の「初めてのバードウォッチング」で野外を歩いていると、参加者の方が頭上を見上げて「あれって、何ですか？鳥の巣にしては小さいし」

樹上2mほどの枝先にぶら下がるように、お椀状の物があります。

「あれはメジロの巣ですね」

「エッ、鳥の巣ですか。ずいぶん小さいですね」

メジロの巣は外形が7~8cm、内径は5cmぐらいで、深さは3cmぐらい。ここに3~5つの卵を産む。主な材料は細かい枯草、糸状のビニール、コケ類をクモの糸などで絡めて作る。産座（巣の底、卵を産むところ）にはシュロの繊維などを敷き詰めます。

「こんな小さい場所で、暮らしてるんですか？」

「いや、暮らしているわけではありません」

鳥の巣というのは、いったいどんな役割があるのでしょうか。家？ それとも寝室？

鳥の巣は家ではありません。つまり生活の場ではないということです。その目的は、繁殖のためです。多くの鳥たちは、繁殖期の春になりつがいを形成します。そして巣作りをし、産卵します。ヒナが誕生すると餌を運び、やがて巣立ち。ここで巣の役割は終わります。つまり我々の生活に当てはめると巣は「ベビーベッド」と言えるかもしれません。

また、巣をねぐらとして繁殖期以外にも利用する場合がありますが、多くの鳥たちは繁殖期以外は巣を持たずに、葉陰や草むら、樹上や地上で眠ります。

「でもこんな道の真上で子育てしていると、天敵にすぐ見つかってしまうのでは」

いえいえ心配ありません。繁殖の時期には、葉が多く茂っていて、目につきにくくなっています。

「この巣はまた使うのですか」

多くの小鳥たちは、毎年新しい巣を作ります。巣を作る、というのは、繁殖行動の一つなんですね。中には木に穴を掘ったり（キツツキの仲間など）、土に穴を掘ったり（カワセミの仲間など）、木の洞を利用したりする鳥（シジュウカラ、フクロウ類）もいます。

実は、今日見つけたメジロの巣には、もう一つお話しがあるんです。昨年9月の「みんなでバードウォッチング」の時、この場所でメジロ2羽が甲高い声で鳴いていました。双眼鏡で見ると、アオダイショウが枝にからまっています。そのそばにこのメジロの巣があり、中には3羽のヒナが。親の2羽が盛んにアオダイショウの周りで鳴き、威嚇しています。しかし、親メジロの必死の抵抗も功を奏さず、3羽のヒナは呑み込まれてしまったようです。その後枝から落ちたアオダイショウの周りを、なおも飛び回っていたメジロが印象的でした。自然界の厳しさを目の当たりにした瞬間でした。

鳥のくらし発見隊 中里

●新型コロナウイルス感染拡大防止対応のお願い●

会員各位

施設休館の延長に伴い、同期間の友の会の活動休止についてご協力のほどよろしくおねがいいたします。施設使用にあたっては、引き続き最低限の事務に限定します。グループ活動、打ち合わせ等を行わないよう改めてお願い致します。

万が一、クラスター等が発生した場合には、風評も含めてその後の活動に重大な支障を及ぼす可能性があります。感染が疑われた場合には、2週間の行動履歴の提出を要請される場合があります。休館期間でなくても、感染者が立ち寄ったことで立入制限となり消毒要請が出るようなことも考えられます。相応に厳しい対応が迫られる事を念頭におく必要があります。観察の森が感染施設とならないよう、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

各自外出は極力お控えいただき、3密の回避など、可能な限り安全を確保してください。一人ひとりの安全確保が、家族、組織、社会を守ることに繋がります。今は感染拡大防止が最大のボランティアと心得、ご自身の健康を維持しましょう。

会長 山口

●3月理事会／定例会および第32回定期総会の書面開催について●

自然観察センターの臨時休館に伴い、3月の定例会・理事会はメールによる書面開催としました。また、4月5日に開催予定であった第32回定期総会につきましても同様に定例会メーリングリストによる書面開催とし、2019年度の事業・決算・監査報告及び2020年度の事業計画、予算、役員改選について事務局から資料を回付し、確認・承認をいただく形式としました。

詳細につきましては、次号ゴロ報にてご報告します。

友の会活動報告

●友の会プロジェクト紹介 畑プロジェクト●

メンバー7人で、無農薬・無肥料で主に在来作物の収穫物を得るとともに、周りの自然の変化を楽しんでいます。現在育てている作物は、ライムギ、ヤマイモ、サツマイモ、サトイモ、タマネギなどで、「秋の森まるごと体験」にも活用しています。自家採種など継続栽培を目指し、プラスチックの使用もできるだけ行いません。また畑の周囲は将来的に、自生する在来の有用植物の栽培スペースとして活用していきたいと思っています。

活動は月2回です。第1土曜日（1月を除く）は、友の会会員は自由に参加できます。また、第3土曜日（8月を除く）は、一般の方も参加できる行事「畑と作物を作ろう」を行っています。

朝の10時から12時までの、少しの肉体労働と自然との触れ合いで、気持ちをリフレッシュしましょう。お昼にお弁当を食べながら、畑の活用などについても話しましょう。皆様の参加をお待ちしています！

畑プロジェクト 落合

●森を守るボランティア体験 活動報告●

「冬の野鳥を観察・記録しよう」

実施日時：2020年2月16日 9:30～12:00

担当：カワセミファンクラブ

参加：一般参加者6名、KFCスタッフ6名（他にレンジャー実習生1名）

生憎の雨となり、当初16名の申し込みがありましたが、キャンセルの連絡が多くあり、結局6名の参加で実施しました。屋外には出ず、森や友の会の説明に加え、野鳥ビデオ鑑賞や鳥の羽教室、野鳥写真の解説で進行しました。やはりバードウォッチングがしたかった家族もいましたが、それなりに楽しんで頂けたようです。予定を早めて昼前に解散としました。

●森の作業体験 間伐体験●

日時 5月16日(土) 10:00 ~ 14:00

森の不要木を伐採します。大鋸を使った間伐作業を体験出来ます。

集合：10時までに観察の森・炭焼き小屋

対象・定員：小学生以上30名 先着順(中学生以下、保護者同伴)

申込期間：4月6日 ~ 5月15日

Fax (045-894-8892) (観察の森) または、Eメール (kansatsunomori@gmail.com)

<薪割り体験やコースター作りなど各種楽しいイベント付きです。>

担当：雑木林ファンクラブ

●2020年度 安全管理講習会●

タイトル： 「子どもたちの発達、その理解と自然体験」

日時： 2020年5月17日(日) 13:00~15:00 (同日の理事会後)

場所： 横浜自然観察の森観察センター 研修室

講師： 神奈川県立金沢養護学校 支援部 コーディネーター 手塚嘉美氏

内容：

今回の安全管理講習は、私たちが子どもたちと行う野外活動で理解しておきたい子どもの発達、そして自然との体験を通じた成長の支援について学び、考えたいと思います。

子どもたちやそれを囲む社会の動きが急速に変わりつつあります。

例えば、かつてはちょっと変わった子ども、困った子どもと受け取られがちであった発達障害をもつ子どもたちも、それが広い意味での個性であり、社会の受け取り方や支援で自律し、中には才能を大きく開く子どもたちがいることへの理解が広がりつつあります。

また、そのような子どもたちが生き生きと野外活動を楽しみながら、自分の居場所を見つけている事例もあります。

一方で、こだわりが強い、コミュニケーションが得意でない、急な変化が苦手、といった子どもたちの特徴を、野外で子どもたちと関わる私たちもよく理解をしておくことで、子どもたちの心身への負担や事故の予防にもつながりそうです。

今回は、神奈川県青少年センターと神奈川県立金沢養護学校のご協力を得て、特別支援教育コーディネーターの手塚嘉美先生から、学校教育の現場や子どもたちの野外体験の事例も引きながら、お話しをいただきます。多くの会員のご参加をお願い致します。

参加登録：

友の会の会員

下記の1) 2)

5月9日(土)

1) プロシ

定例会

2) プロシ

kansatsunomori@gmail.com

現在の感染症の状況を鑑み、当面延期することとしました。

、
だき、

★新コーナー★

森の自然情報

ブログより

今回は、3ページに友の会プロジェクト紹介の記事を載せている畑プロジェクトさんの2019年4月24日付けブログの一部を再掲載させていただきます。観察センターが再開したら、皆さんも春の森に出かけてみませんか。

編集担当 今村

森は新緑を迎え、畑も緑が増してきました。ライムギの中には、もう穂を出しているものもあります。



この日の作業は、サトイモの植え付けから始めました。昨秋に畑に埋めておいたサトイモをまず掘り出しました。目印に笹の葉を埋ましたが、「ここに埋めたはずだ。いや、あっちだったかな?」と探し当てるが大変でした。目印に針葉樹の枝を被せているのをテレビで見ました。なるほど、これなら腐りにくくてすぐ見つかるかもしれません。来年は腐りにくい枝や葉を埋め場所の目印にしましょう。



掘り出した種イモは、4畝に植えました。10月に収穫です。



11時ごろの「もぐもぐタイム」で、近くにウグイスが来て囀ってくれました。「あそこにいる。あ、動いた。」と、時を忘れさせます。



そうそう、8年前に畑にやって来た実生苗のサクラが今年初めて実を付けました。そろそろ咲くのではないかと気にしていたのですが、今年は花を見逃しました。来年は、どんな花が咲いたのかしっかり見届けたいと思います。





自然観察センターだより



2020年 4月号

🌸 2020年度のレンジャーです。よろしくお願いします 🌸



チーフ・全体統括・
環境管理主担当
掛下 尚一郎

指定管理者としての初年度がこのよう
な形ではじめてしまいましたが、一層、生き
ものにぎわいのある森をすすめていけるよう
がんばります。



ウェルカムセンター事業・
環境教育主担当
尾崎 理恵

新しい春を迎えました。これから指定管
理者としてこれまで以上に様々なことにチャレン
ジしていきたいと思います。
応援よろしくお願いいたします。



環境調査主担当
奴賀 俊光

早いもので横浜4年目になりました。
鳥類調査に興味ある方、調査をしてみたいとい
う方は、一緒に鳥類調査してみませんか？今年も
よろしくお願いいたします。



環境教育・環境調査担当
大久保 香苗

世の中も、森の中も、なぜだかめまぐるし
く変わる今日この頃。変わらない森の楽しみ、いつ
も感じられる「生きものにぎわい」を、支えられ
るよう、今年もがんばります。



環境教育・環境調査補佐
金井 菜摘

引き続き、自然情報や展示を担当しま
す。森で生きものを観察したらぜひ教
えてください。みなさんにたくさんの情報を発信
できるように頑張ります。どうぞよろしくお願
いします。



環境管理・環境教育・環境調査補佐
中沢 一将

憧れのレンジャーになってからあつという
間に一年が過ぎ、4月からレンジャー2年目
がスタートしました。
今年も皆様とこの森で一緒できることを楽しみに
しています。

はじめまして！



ありま ゆうじ
有馬 雄治 (環境管理・環境教育補佐)

初めまして。去年は植木屋をする傍ら、この
森の管理作業や来園者対応の補助をしてい
ました。仕事から庭木を扱ってきましたが、
山の草木についてまだ分からないことだら
けなので、ご教授いただければ幸いです。
よろしくお願いいたします。

カウンターでお迎えます！

岡 みつる

佐々木 美雪



にがおえ：金井菜摘

🌸 プロジェクト担当 🌸

畑プロジェクト (金井)

PJ-STRIX (掛下)

野草の調査と保護 (中沢)

森の絵本づくりの会 (大久保)

定点カメラで動物調査 (大久保)

ハンミョウの会 (尾崎)

自然と遊ぼう (大久保)

鳥のくらし発見隊 (奴賀)

雑木林ファンクラブ (掛下・中沢)

カワセミファンクラブ (奴賀)

事務局 (掛下・尾崎)

植生図 (掛下)

モニ1000 (掛下・奴賀)

カエル調査隊 (奴賀)

ゴロ報 (大久保)

子ども行事 (尾崎)

【ごあいさつ】 指定管理者からのごあいさつ



公益財団法人日本野鳥の会 施設運営支援室長 大畑孝二

友の会の皆様には、日頃より観察の森の運営で大変お世話になっています。あらためてお礼申し上げます。2020年度から指定管理者制度が導入され公募の結果、本会が選定されました。引き続き、皆様とともに活動できることを大変嬉しく思っています。皆様と築きあげてきた「生きもののにぎわいのある森」づくりを維持・発展させるとともに普及・教育活動にあたっていきたいと思います。指定管理者制度の趣旨は、民間事業者のノウハウや能力を活用して、施設設置目的を効果的かつ効率的に達成するというものです。皆様からのアイデア・ご意見などもいただきながら現場のレンジャーを中心に新たな観察の森づくりに貢献したいと思っております。

引き続き皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【おしらせ】 新型コロナウイルスへの対応

横浜市の通達を受け自然観察センターは2月29日（土）より5月6日（水・祝）まで臨時休館となりました（4月3日現在）。最新の開館状況や活動の制限についてはセンターHPや友の会定例会のメーリングリストでお知らせしますのでご確認ください。なお、休館中もレンジャーは人数を限りながらセンターにて業務を行っています。御用の際は外でお話させていただくなど、予防へのご協力をお願いいたします。また、横浜市HPでも情報提供が行われていますので、感染予防に役立ててください。

<横浜市新型コロナウイルス URL:

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/kansensho/coronavirus/>>

【おしらせ】 開閉園の時間が設けられます

4月1日より、自然観察の森の散策路の利用に対して、利用時間の決まりが設けられました。周辺の市民の森等にならない、園内を利用できるのは、日の出から日の入りまでとなりました。なお、イベント等で夜間でも開園することがあります。プロジェクトの活動を夜間に希望する場合はレンジャーにご相談ください。

【報告】アライグマ(特定外来生物)の捕獲ワナ巡回結果報告

今年度も12月3日から3月12日の期間にアライグマの捕獲事業を実施しました。アライグマ15頭、タヌキ18頭を捕獲しました。アライグマはここ5年間で最も多く捕獲でき、周辺域に生息する個体数の多さが伺われました。巡回やワナの設置、疥癬症のタヌキの搬送(1頭)には、今回も友の会有志のべ47名の方にご協力いただきました。どうもありがとうございました。

ボランティアさん
ありがとう

2月1日
～3月31日

2/1～ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供

2/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

2/9 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供

2/1 雑木林ファンクラブ 片岡章さん 三村肇さん 橋本雅夫さん

CSR活動受け入れへのご協力

2/5 雑木林ファンクラブ 片岡章さん ストーブ薪の焚き付け指導

2/26 雑木林ファンクラブ 片岡章さん センター用ご意見箱の作成のご協力

11月～3月 今村修さん 大浦晴壽さん 岡田昇さん 石川裕一さん

岸本道明さん 中里幹久さん 水上重人さん 高橋睦さん

特定外来生物アライグマ防除へのご協力

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者：



行事スケジュール 4月～6月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●定例写真展（四季の野鳥）

3/29（日）～5/30（土）

場所：ごろすけ館

担当：カワセミファンクラブ

●森の作業体験（間伐作業体験）

5/16（土）10:00～14:00

対象：小学生以上（中学生以下保護者同伴）

申込必要 定員30名先着順

申込締切 5/15（金）

集合：自然観察センター前 10:00

申込方法など詳細は、友の会行事のお知らせページを参照ください。

●2020年度 安全管理講習

タイトル：子供たちの発達、その理解と自然体験

場所：自然観察センター研修室

開催日時未定

●自然観察センター主催行事●

5月6日（水・祝）までの観察センター休館が決まっています。それに伴い、例年実施していたゴールデンウィーク期間中の行事等は中止しました。

★注意★

今後の新型コロナウイルス対策の状況によっては、各行事の中止、開催日変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

[\(http://ynstomo.org/\)](http://ynstomo.org/)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)

で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう（園内の自然案内）

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
6/7（日）

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング（野鳥観察）

～のんびり楽しむバードウォッチング～

5/10（日）・6/14（日）

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて

対象：どなたでも（双眼鏡・図鑑貸出あり）

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

5/20（水）・6/17（水）

10:30～12:00 絵本製作

受付：ごろすけ館 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

5/16（土）・6/20（土）

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎月第3土曜

●定点カメラで動物調査

5/9（土）・6/13（土）

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参

集合：ごろすけ館

5月～11月の毎月第2土曜

発行日 2020年4月19日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com